



	季	刊	学	海
--	---	---	---	---

2017.8 夏号 岐阜県立岐阜高等学校・校誌編集委員会

目次	
平成29年度	
着任式・始業式	1
入学式	2
対面式	3
前期生徒会役員	3
P T A総会	3
球技大会	3
一年学年集会	3
三年P T フォーラム	4
教育実習	5
命の尊さ統一LHR	5
二年「卒業生と語る会 I」	6
同窓会総会	
・在京(首都圏)同窓会	6
終業行事	6
グローバルリーダー養成事業	
職業・学問体験プログラム	8
国際交流体験プログラム	14
特集 サイエンス・オリンピアド	
全米大会2017に招待参加	15

平成 **29** 年 度

◆ ■ ■ 4月10日(月) / 着任式・始業式

■平成29年度転入者

教頭	西谷 徹	(可児工業高校教頭)
国語	林 美江	(新採用)
地歴公民	森 利香	(羽島北高校)
理科	伊藤 誠司	(各務原西高校)
保健体育	栢植 由衣	(大垣東高校)
英語	前田 博子	(加茂高校)
養護	小川 明子	(育休から復帰)
事務部長	山本 淳一	(各務原西高校事務長)
事務主査	上田 祥子	(岐山高校)
保健体育	中川 千枝	(非常勤講師)
初任者指導	小川 和英	(非常勤講師)

転入職員代表挨拶 教頭 西谷 徹
 始業式訓話 校長 南谷 清司
 進路指導部長より

始業式訓話 校長 南谷 清司

みなさんおはようございます。新しい1年がスタートします。皆さんはこの新しい1年をどのように過ごそうと考えていますか。

私は、昨年度は始業式で話したように足元をしっかりと見なければと気を引き締めてこのスタ

ートを迎えました。今年度はやりたいこと、やらなければならないことをはっきりさせて新しい1年のスタートを迎えています。私のやりたいことは何かというと、生徒の皆さんの可能性をもっともっと引き出す仕組みや、教科書に書かれている知識以外の、高校で学んだこと、身に付けたことが問われるかもしれない、大学入試改革による新しい国立大の二次試験に対応できる仕組みを、この1年間に検討することです。先生方の協力を得て岐阜高校がもっと発展、進化するためになんとかやり遂げようと決意しています。

皆さんはどんな決意をしていますか。もちろん、生徒一人一人で異なると思いますが、自分の決意を文章にして自分自身に声に出して語りかけたり、誰かに話したりすると決意がもっとはっきりとして強固なものになります。試してみてください。

しかし、決意をするだけでは何にもなりません。実行が大切です。そして、実行のための岐高生の道標が校訓「百折不撓、自彊不息」です。では、新年度を迎えるにあたってもう一度校訓の復習をしましょう。先ず「百折不撓」についてです。「百折不撓」の「百折」は百回も折れる、つまり「何度も挫折することを」意味しています。「不撓」の「撓」は挫けるという意味で否定の「不」が付いているので挫けないこととなります。次は「自彊不息」についてです。「自彊」の「彊」は努めるとか、励む、頑張るという意味で、「自彊」で自ら努める、自ら励むという意味

になります。「不息」の「息」は呼吸の「息」と同じ漢字ですが、止めるとか終わるという意味もあります。否定の「不」が付いて止めないとなります。この校訓「百折不撓，自彊不息」，言い換えれば「幾度失敗しても志を曲げないこと，自ら努め励んでやまないこと」が皆さんの今年度の決意を実行するための道標となるわけです。なお，校歌の「百折不撓努めてやまず」は校訓「百折不撓，自彊不息」のことです。

昨年度，本校の仲間が「科学の甲子園全国大会」に岐阜県代表として出場し全国の頂点に立ちました。これまで先輩たちが何回も出場し優秀な成績を納めてきましたが，残念ながら全国の頂点には手が届きませんでした。そして，次こそは全国の頂点へという思いと全国の頂点を目指す努力が，先輩から後輩へと受け継がれながら岐阜高校の伝統として積み重ねられてきました。このような積み重ねがあつての全国優勝でした。まさに，校訓「百折不撓，自彊不息」，「幾度失敗しても志を曲げないこと，自ら努め励んでやまないこと」の精神が先輩から後輩へ受け継がれ，毎年の努力の積み重ねを支え，見事に全国優勝という花を咲かせてくれたのだと思います。

皆さんも，科学の甲子園のみならず，大学受験や部活動など，様々な場面での先輩や仲間の活躍を思い出し，この1年のスタートに当たっての自分の決意を思い出し，そして校訓「百折不撓，自彊不息」を胸にこの1年を過ごせば必ず皆さんの決意を実行することができます。本校の伝統に敬意を持って，自らを信じて，勇氣と希望を持ってこの1年間，自分自身の決意の実行に向かって挑戦してください。

以上で私の話を終わります。

◆■■ 4月10日(金)／入学式

361人の入学を許可

学校長式辞

新入学生代表宣誓

来賓祝辞 P T A会長

式辞

校長 南谷 清司

桜の花が咲き誇るこの清々しい良き日に，本校P T A会長河田誠様並びに多くの保護者の皆様の御臨席を賜り，平成二十九年度岐阜県立岐阜高等学校入学式を挙行できますことは本校にとりまして大きな喜びであります。御臨席の皆

様に厚くお礼を申し上げます。

ただ今入学を許可しました三百六十一名の新入生の皆さん，御入学おめでとうございます。在校生，教職員一同，皆さんの入学をお待ちしておりました。また，保護者の皆様には，お子様やご家族の努力と願いが叶って本校に入学されましたことを心からお喜び申し上げます。

岐阜高校は，岐阜地区のみならず岐阜県のフラッグシップ校として明治六年の創立以来百四十四年に渡り，「百折不撓，自彊不息」の校訓のもと生徒一人一人の個性や資質，能力を最大限に伸ばすよう取り組んで参りました。そして，四万五千人以上の卒業生が国内のみならず世界で活躍し輝かしい成果を挙げ続けています。また，文武両道の気風を現在に引き継ぎ，生徒は学習だけでなく文化，スポーツ，さらには科学研究，社会活動にも全力で取り組んでいます。新入生の皆さんは今日からこの素晴らしい伝統に輝く岐阜高校の一員となります。どうぞ，本校の伝統に対して敬意を払うとともに岐阜高校の生徒であるという誇りを持って有意義な高校生活を開始してください。

さて，高校生活は人生の中ではほんのわずかの年数でしかありませんが，皆さんが身も心も大人へと成長していく最も大事な時期であり，しかも将来の進む道を決めるにあたって重要な意味のある三年間でもあります。このように大切な高校生活を開始するに当たって，新入生の皆さんに，岐阜高校での生活のあるべき姿を示すのが校訓「百折不撓，自彊不息」です。

「百折不撓」の「百折」は「何度も挫折すること」を，「不撓」は「挫けないこと」を意味しています。「自彊不息」の「自彊」は「自ら努める，自ら励むこと」を，「不息」は「止めないこと」を意味しています。この校訓「百折不撓，自彊不息」，言い換えれば「幾度失敗しても志を曲げないこと，自ら努め励んでやまないこと」が岐阜高校での生活のあるべき姿，道標となります。

さて，皆さんが岐阜高校に合格した喜びに包まれているときに，本校も生徒の素晴らしい活躍に感激し興奮していました。新聞やテレビで何度も報道されたので皆さんも知っていることと思います。本校の生徒が茨城県で開催された「科学の甲子園全国大会」に岐阜県代表として出場し，全国の頂点に立った大活躍のことです。この大会は一校8人のチームで，互いに協力しながら理科，数学，情報などの筆記試験や実験と考察，さらにはロボット製作などのものづくりにも挑む競技です。そして，岐阜高校のチー

ムが、見事東京都の筑波大学附属駒場高校や、兵庫県の灘高校など大都会の強豪校を打ち破り全国の舞台で優勝しました。とても素晴らしいことで全校が大きな喜びに包まれました。これまで先輩たちが何回も出場し優秀な成績を納めてきましたが、残念ながら全国の頂点には手が届きませんでした。そして、次こそは全国の頂点へという思いと全国の頂点を目指した努力が、先輩から後輩へと脈々と受け継がれながら積み重ねられてきました。まさに、本校伝統の校訓「百折不撓、自彊不息」、「幾度失敗しても志を曲げないこと、自ら努め励んでやまないこと」の精神が、先輩から後輩へ受け継がれ毎年の努力の積み重ねを支え、見事に全国優勝という花を咲かせてくれたと思っています。

新入生の皆さんにも将来こうなりたい、こうしたいという夢や希望があることと思います。それは具体的な職業だったり、世界に飛び出したいという自分を取り巻く環境だったり、あるいは人の役に立つような存在、人に感謝されるような存在になりたいという生き方だったり、夢や希望の内容は一人一人で異なると思います。

岐阜高校での生活は、今までの中学校での生活と比較すると、自らの限界に挑戦するような厳しいものになるかもしれません。目的を見失い嫌になってしまう時も、自信が無くなり逃げ出したくなる時もあるかもしれません。そんな時には、自分の夢や希望を思い出し、そして校訓「百折不撓、自彊不息」を思い出してください。自らがいきいきと輝く姿、そして校訓が示す道標を胸に刻み、本校の伝統に敬意を持って生活すれば必ず皆さんの目指す姿に近づくことができます。自らを信じて勇気と希望を持って岐阜高校での三年間に挑戦してください。岐阜高校の全ての教員は、全力を挙げて皆さんの挑戦を支援します。

結びとなりますが、ご出席いただきましたご来賓、保護者の皆様に重ねて厚く御礼を申し上げますとともに、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

◆ ■ ■ 4月11日(月) / 対面式

歓迎のことば 生徒会長
新入生代表挨拶

◆ ■ ■ 4月27日(木) / 前期生徒会役員認証式

◆ ■ ■ 4月29日(金) / P T A 総会

◆ ■ ■ 5月23日(火) / 球技大会

■ 競技の成績

競 技	1 位	2 位	3 位
男子 サッカー	教員	2-2	3-2A 3-3
2・3年男子 バスケットボール	3-3	2-4	2-7 2-9
2・3年女子 バスケットボール	2-3	3-1	3-4A 3-7
2・3年男子 卓球	3-3	2-2	2-4
2・3年女子 卓球	2-3	3-10	2-6
2・3年男子 バレーボール	2-1	2-5	2-8 2-3A
1年生男子 バレーボール	1-8	1-4	1-3
2・3年女子 バレーボール	2-4	3-10	2-1 2-7
1年生女子 バレーボール	1-5	1-1	1-2
1年生男子 トッジボール	1-7A	1-5A	1-4B 1-6A
2・3年女子 トッジボール	2-7	2-4	2-6
1年女子 トッジボール	1-7	1-8	1-4

◆ ■ ■ 5月25日(木) / 一年学年集会

■ スマホ・ケータイの安心安全な使い方
KDDIスマホ・ケータイ安全教室 高木忠義

□ 概要

ケータイ・スマホはとても便利なものだが、一方でトラブルに巻き込まれる高校生は多い。今回のお話ではケータイ・スマホの危険な側面を知り、トラブルに巻き込まれない態度を身に付けることが目的である。

□ 高校生が利用するサービスと危険性の例

- ① 無料通話アプリ
いじめ、仲間外し、誹謗中傷
- ② インターネット
ワンクリック詐欺
- ③ 通話・メール
いたずら電話、オレオレ詐欺

④ SNS

なりすまし、乗っ取り、出会い

⑤写真・動画

無断撮影、無断投稿、著作権違反

⑥ゲーム

高額請求、ながらスマホ、スマホ依存

□日常生活への悪影響

睡眠不足、ゲーム依存、動画の長時間視聴などにより、軽度であれば疲労、視力低下、気力低下、重度になると憂鬱な気分になり人間関係が疎遠化し、引きこもりに至るなど、日常生活に悪影響を与える。

□「ながらスマホ」のトラブル

「ながらスマホ」のトラブルが増加している。歩きながら、自転車ながら、TVながら、ご飯ながらは「四大ながら」とよばれている。自転車ながらで、大けがをさせた事故の損害賠償請求では、9,000万円の支払いを命じられたケースがある。TVながらやご飯ながらでは誤ってクリックしてしまい、課金サイトに入ってしまうことがある。

□成りすまし、乗っ取り、ワンクリック詐欺、架空請求

友だちのふりをして無料通話アプリやEmailで「プリペイドカード買ってきて?」「有料スタンプを無料で上げる!」「カードの裏の番号を写真で送って?」と連絡してくる。後日だまされたことに気が付く。

怪しいサイトのURLからアプリをダウンロードしてしまい、いきなり画面で高額料金の請求をされる。

□動画のトラブル

漫画やアニメ、テレビ番組やアーティストのLIVEコンサートをアップロードすると著作権違反。友達のカラオケ動画を動画サイトにアップロードしたら、著作隣接権違反。

□ウイルス感染

広告サイトやポップアップをダウンロードすると、コンピューターウイルスに感染し、スマホの画像やアドレス帳のデータが盗まれる。

□実際に起きた3つの事件の動画から考える

1 まじ面倒くさい

無料通話アプリで友人からの質問に対して

返信をしないまま、その後家庭内で起こった出来事に対して「まじ面倒くさい」と公開SNSでつぶやいたところ、その友人が勘違いし、他の友人も巻き込んだ仲間はずれに発展した事件。

誰が読むのかという想像力が不足すると陥りやすい事件で、投稿前によく考えることが大切。また、無料通話アプリと公開SNSの違いを理解して使うことも重要。巻き込まれた友人もいじめる側になったが、状況をよく考えて互いに注意することも大切。スマホ・ケータイを利用するときは、思いやりの気持ちを忘れないことが何よりも大切。

2 いたずらなつぶやきが…

友だち同士の悪ふざけのつもりで発信した写真がネット上で拡散し、被災地で大勢の人々を巻き込み、大混乱を引き起こした事件。

悪ふざけやいたずらではすまされず、刑法の偽計業務妨害として3年以下の懲役または50万円以下の罰金に処せられる。将来的には、進学や就職などにも影響が出る場合がある。

このようなトラブルを防ぐには、投稿する前に一歩立ち止まってよく考えることが大切。

3 写真のゆくえ

元交際相手の「秘密の写真」を、インターネットにばらまいた事件(リベンジポルノ)。他人に見せられない写真は絶対に撮らせない、渡さないことが大切。被害者は女性だけでなく男性もみられる。

加害者を取り締まる法律としてリベンジポルノ防止法などが制定されました。被害者はもちろん、法の裁きを受ける加害者も一生の傷となってしまう。

□本日のまとめ

- ①各家庭でルールを作る
- ②フィルタリングを利用する
- ③思いやりの気持ちを持って利用する
- ④軽はずみな投稿をしない
- ⑤危ない写真を撮らせない、渡さない
- ⑥立ち止まって考える、迷ったらやめる・相談する

◆◆◆ 6月2日(金) / 三年PTフォーラム

■ 『進路目標の実現を目指して』

～完全燃焼できる一年を過ごす為に、
“親として”今できること～

親としての3つの役割について

職員 関谷 篤

1 お金の準備

2,3月にお金が必要。場合によっては学資保険もあつという間になくなっていく。

2 生活環境を整える

衣食住を充実させる。出来立てのごはん、お風呂、親として「食」を大切に。「食」は「人」を「良くする」と書く。食べるときはそばにいて会話するとよい。唐揚げなど子供の好きなものを1品余分に作ると子供も気分が上がり、ストレス解消になる。家の中を落ち着いた静かな環境に整える。兄弟がいれば出来るだけ協力してもらおう。夜食にココアを持っていくなど、無理せずほんのちょっとしたことでいいので、気遣うと通じるものがある。

3 見守る

勉強が上手くいく生徒は落ち着いて毎日を過ごしている。スポーツで例えると「フロー」や「ゾーン」の状態になると良い。「フロー」の状態とは淡々とやるべきことをやっていく状態。流れるように淡々と勉強ができる状態。「ゾーン」の状態とは、集中力が高まりどんどん出来ること。ラグビーの五郎丸選手がゴールキックを蹴るとき、集中力が高まりゴールが大きく見え、必ず入るキックができるような心理状態のことで、「できる」という自信が持てるとどんどん伸びていく。「そんな大学、無理じゃない?」「そこは上すぎだろ?」はNGワード、「本当に行きたいなら頑張らなさい。」と言って無理だと思っても「本人の頑張り」を信じて我慢して黙って見守る。7月の三者懇談までにお金の話も含めていろいろ話しておく。保護者のスケジュールは、3年PTフォーラム資料の「保護者のスケジュール【参考資料】」を参照。受験の宿は大学の近くを予約してあげたい。試験には3分の1くらいの親が同行しているようだ。行ける範囲で行くとよい。子供は安心する。保護者としては生活とお金を“支え”る立場。保護者も不安を抱えていて、両親間でもお互いにイライラすることがあるが、冷静に話して落ち着いて見守る。前向きなコメントをしながら子供を支えていきたい。基本は“応援団”であること。

◆ ■ ■ 6月7日(水) / 教育実習
6月7日(水)~20日(火)・27日(火)

◆ ■ ■ 6月9日(木) / 命の尊さ統一LHR

■ だれでも、こころが苦しいときがあるから~大切なあなた自身と仲間を守るために~

名古屋大学大学院教育発達科学研究科
窪田 由紀

□「だれにでも、こころが苦しいときがある」ことを知ろう

こころが苦しくなる原因として、大切な人との死別・離別、成績の低下、病气やけが、家族とのトラブル、進路の悩み、部活動の失敗、事件や事故にあう・目撃する、まわりの人にわかってもらえない、居場所のなさなどが挙げられます。

これらの中には避けることのできない出来事もあり、「だれにでも、こころが苦しくなる可能性がある」ことがわかります。その可能性があることを、元気な時に知っておくことが大切です。

□「ストレス対処法」には順番があることを知ろう~包括的ストレスマネジメント~

1) Stop & Calm down

まずは、気持ちを落ち着けましょう。(例)好きなことをする、身体を動かす、話を聞いてもらう、寝る、お風呂に入る、リラックスする。

2) Think positive

落ち着いて合理的・前向きに考えましょう。(例)もう一度考え直してみる、どのような解決方法があるかを考えてみる(書き出してみる)。

3) Act

その上で、状況・相手に働きかけましょう。(例)計画を立て実行する、周囲の人に助言を求める、周囲の人に助けてもらう。

□「どんなに苦しくても、必ず終わりがある」ことを知ろう

辛いことが重なって、こころのもやもやが高まると、強い孤独感、強い怒り、無価値観、心理的視野狭窄、絶望感など心の危機に陥り、「自分がいることで周囲に迷惑をかける」「消えてしまいたい」と思うようになります。苦

しさの只中にいるときは、苦しみは永遠に続くような気がしますが、新しい出会い、生活環境の変化、温かい支えの獲得、こころの成長などがあると、気持ちが変化することがあり、苦しい時にも必ず終わりが訪れます。

□「だれかに相談できる力」を身に着けよう

人に話すことへの否定的な意見もあります。人に話したって自分の辛い状況は変わらない、人に頼るのは弱い人間のすること、相談した相手に迷惑をかける、などです。

一方、人に話すことのメリットには、自分の本当の気持ちに気づく、気持ちがすっきりする、新しい見方ができるようになる、安心できる、どうすれば良いかわかる（解決方法に気づく）、わかってもらえて勇気が出る、解決の糸口がつかめる、などたくさん挙げられます。

□周囲が気づいてあげる

本当に落ち込んでしまうと自ら助けを求めることができません。特にうつ状態の人は健康な人と比べて SOS を出せない心理的狭間に陥ってしまいます。そんな時は、周囲の人が気づいて手を差し伸べることが大切です。

□友だちの様子が気になったら…

友だちの気持ちになって温かく聴く、意見やアドバイスよりも聴く、うなずきながらゆっくり聴く、友だちが信頼して話してくれた内容はみだりに他の人に話さない、聴いた話の内容がとても深刻で友達が絶望的な気持ちでいる場合には「誰にも言わないでほしい」と言われたとしても秘密にしてはならないことを強調し、「あなたが大切だから」「あなたを守りたいから」と伝え信頼できる大人に繋げるようにしましょう。

□「きょうしつ」～友だちのこころの危機に直面した時のキャッチフレーズ～

「き」気づいて：危機に気づいて

「よ」寄り添い：友達に寄り添って

「う」受け止めて：辛さを受け止めて

「し」信頼できる大人に

「つ」繋げよう

□まとめ ～伝えたい3つのメッセージ～

- ・だれにでもこころが苦しいときがある
- ・どんなに苦しくても、必ず終わりが来る
- ・だれかに相談できる力

◆■■■ 6月9日(金)／二年FPT

■ 卒業生と語る会 I

高校生活と大学受験を振り返る

□概要

4人の卒業生を講師として招き、①志望校を決定した時期や経緯 ②部活を終え、帰宅後の学習について ③2年生の時期にやっておくと良いこと、参考になる勉強方法 ④受験を終えての感想やアドバイス などパネルディスカッション形式で、非常にためになる話を聞かせていただきました。

□まとめ（生徒の感想より）

「生活のリズムや勉強時間の工夫など、運動部出身の先輩の話は非常に参考になった」、
「模試を反省して自分も『カルテ』を作りたい」

「同じような目標を持つ仲間とお互いに支え合い、高みを目指していきたい」「塾について、利用の意味を考え直すきっかけとなった」など、先輩方の話から多くのことを学ぶことができました。

自分に合うかどうかは、やってみないと分かりません。大学に進学して何をしたいのか、将来どのような職業が考えられるのか、今の自分には何が足りなくてどうしなければならぬのかなど、たいへん参考になりました。

◆■■■ 6月12日(日)／同窓会総会

◆■■■ 7月3日(日)／在京(首都圏)同窓会

6月11日(日)岐阜グランドホテルに608人が集まり、同窓会総会が開かれました。当番幹事は昭和49年卒、昭和59年卒、平成6年卒の方々でした。総会議事後には、ドローンによる空撮画像と吹奏楽部による演奏が披露されました。

6月25日(日)には、東京ドームホテルで約220人が参加して在京(首都圏)岐阜高校同窓会総会が開かれました。当番幹事は、昭和51年卒と61年卒の方々でした。議事後には、「科学の甲子園」優勝報告とサイエンス・オリンピック全米大会の参加報告が行われました。また、平成17年卒の見田村千春さんによるライブ演奏も行われました。

学校長訓話
進路指導部長より
生徒指導部長より

訓話

校長 南谷 清司

平成29年度の3分の1が過ぎました。この4か月間を振り返ってどのような感想をもちますか。

始業式で、この1年の決意を文章にして、自分自身に声に出して語りかけたり、誰かに話したりして、その決意をもっとはっきりとしたもの、確固なものしようという話をしました。校訓「百折不撓、自彊不息」を胸に、自らを信じて、勇気と希望を持って、引き続き、自分自身の決意に向かって挑戦してください。夏休みはそのための掛け替えのない大切な時間となるはずです。

さて、その始業式で、私の決意についても少し話しました。覚えているでしょうか。私の決意は何だったかと言うと、先生方の協力を得て、岐阜高校がもっと発展、進化する仕組みを、この1年の間に検討したいということでした。そのことに関して、岐阜県教育委員会で大きな動きがあったので、この機会に説明をしたいと思います。

先日、新聞やテレビで、「岐阜高、単位制に」「来春新入生から移行」と報道されました。驚いた生徒も多かったことと思います。約1年前となる昨年3月に、大学教授や産業界の方々からなる委員会が、県立高校を活性化する方法を発表しました。その中で、岐阜高校においては、個別のより高度な学習ニーズに対応できる仕組みとして単位制普通科に改編してはどうかと提言されました。この提言を受けて県教育委員会が約1年間検討した結果が先日の報道です。そして、岐阜県教育委員会は、この7月11日に、来年4月の入学生から岐阜高校を単位制普通科にし、岐阜県内のどこからでも入学を可能にするということを決めました。

このように、「個別のより高度な学習ニーズに対応できる」が目的であり、単位制はその目的を達成するための手段でしかありません。単位制については、「自由に時間割を作成できる」、「多様な科目から興味関心に応じて学ぶ科目を自由に選択できる」と説明され

る場合もありますが、岐阜高校は「自由な選択」が目的ではないので、このような自由とか、多様なといった一般的な単位制の説明は全く当てはまりません。

では、「個別のより高度な学習ニーズに対応できる」という今回の目的はどのようにすれば実現できるのでしょうか。皆さんも知っている通り、岐阜高校では様々な講演会や体験活動を行っています。昨年度は、元国土交通省事務次官、京都大学総長など日本のリーダーとして活躍されている方々に御指導いただきました。また、つい数日前には、岐阜市民病院の副院長さんや医療に携わる方々、国際連合でケニアを中心に難民支援をしている方、能登半島で地域起こしをいらっしゃる方などにも御講演をいただきました。これらの講演を聞くことは、教科の授業では実現できない「個別の高度な学習ニーズ」に対応した時間でもあったと思います。しかし、部活動などの兼ね合いで参加したくても参加できなかった生徒も多かったのではないかと考えています。そこで、これらの一部を授業時間内に実施することも一つの方法になります。

また、医学部志望、研究者志望、国際関係志望、企業経営や行政志望など、皆さんは様々な進路を考えていることと思います。そのような進路につながる学びのニーズも高いと思います。英語の科学論文を読む、大学の数学に触れる、論文の書き方を身に付ける、もっと専門的な実験をするなどの学習ニーズに対応することも一つの方法です。

「個別のより高度な学習ニーズに対応できる」ようにするにはこのように様々な方法が考えられますが、実際には先生方の人数、教室の数、大学入試への準備などもあり、具体策についてはこれから先生方と一緒に検討をしていきます。しかし、このようにまだ検討中でも、間違いなくいえることは、岐阜高校は「個別のより高度な学習ニーズに対応できる高校へとさらに進化する」ということです。

「岐阜高、単位制に」「来春新入生から移行」の報道を見たり聞いたりして、岐阜高校の何がどのように変わるのかなど疑問に思ったり、不安に感じたりした生徒も多いと思います。一方、来年度入学生からのことならば自分には関係ないと思う生徒もいるかもしれません。しかし、皆さんにとってこれからずっと母校であり続ける岐阜高校のことです。伝統を大切にしつつ時代の変化と共に進化す

る岐阜高校の姿に注目し理解を深め、そして応援し続けてくれることを期待しています。

グローバルリーダー 養成事業

職業・学問体験プログラム

■生物・化学系

〔講師〕

源 利文（神戸大学大学院特命助教）

〔日程〕

6月23日（金）

〔演題〕

「水を調べれば生物がわかる？環境DNA研究の発展」

□高校以降のキャリアパス

私は高校時代には物理と化学を選択し、得意科目は物理と数学でした。当時の岐阜高校は全体の英語のレベルが高く、高校内では特にできる方だとは認識していませんでしたので、得意科目とは思っていませんでしたが、今考えてみると英語も世間一般から見ればかなりできる方だったと思います。大学入試では理学部を選択し、物理を専攻するつもりでしたが、入学後、当時ゲノムの解読などで盛り上がっていた生物を専攻することにしました。生物現象も物理の法則に従いますし、計算力はあらゆる分野で必要となりますから、物理や数学を得意としていたことは、今でも様々な面で役立っています。また、研究者として生きる上で英語から逃れることは出来ませんので、高校時代の学びは現在の私の仕事に直結しているといっただけいいでしょう。私の高校時代の勉強法は宿題と小テストに全力を投じるというものでした。部活（バレーボール部）にも力を入れていたので、塾などに通う時間的な余裕がありませんでした。しかし、特に小テスト対策の勉強は短時間で集中的に

学習する技術を磨くのに役立ったと思います。

大学では3回生から生物にとりくみました。当時、様々な生命現象が遺伝子で説明できることがわかりつつあり、講義でも最新の知見が次々と紹介され、非常にエキサイティングでした。高校で生物を選択していなかった事もほとんどハンデにはならず、楽しく学ぶことが出来ました。大学院の博士前期課程（修士課程）、後期課程（博士課程）では魚類の生理生態学を専門とし、主にアユの視覚生理に関する研究を行いました。遺伝子（DNA）を利用した研究はこの頃に始めています。博士の学位取得後は、京都大学、産業技術総合研究所、総合地球環境学研究所でいわゆるポスドク研究員として研究を続け、分子生理学、環境学等にとりくみました。いずれも遺伝子を利用して生命現象や環境現象を明らかにするような研究が主たる仕事です。

□環境DNAの発見と初期の苦悩

現在専門とする環境DNAに出会ったのは2009年ごろのことでした。当時、コイヘルペスウイルスというコイだけに感染するDNAウイルスの環境水中濃度を測定する仕事をしていたのですが、その過程で水の中には魚のDNAが大量に含まれていることを発見したのです。この発見は全くの偶然から生まれたものですが、当時の同僚とディスカッションする中で、これを利用することで「水を汲むだけでそこにどんな生物がいるのかがわかる」ような技術につながるということに気づいたので、これまでの生物調査が金銭的、労力的に非常にコストのかかることであることはよくわかっていましたので、環境DNAのインパクト、応用可能性などはこの瞬間に良く理解できていました。

しかし、学会では当初ほとんど理解されませんでした。初めて環境DNAについて発表した2011年の日本生態学会大会では、聴衆がほぼ話を聞いてくれない状況でした。普段マクロ生物を相手に調査をしている人にとって、水を汲むだけで生き物を目にする事無く調査を行うなどということは、まったく共感できないことだったのかもしれませんが、また、世間の反応も芳しくはありませんでした。論

文発表時にプレスリリースを行いました，記事にしてくれたのは地元紙のみで，全国紙にはまったく相手にしてもらえませんでした。環境DNAで検出できたのが，コイやカワムツといった，あまり世間的に注目されない生き物だったことも原因の一つだと思います。

□オオサンショウウオへの適用とメディアの注目

このままではせつかくの素晴らしい技術が埋もれてしまうという危機感を持っていたところ，偶然大学院時代の先輩とお話をする機会がありました。その中で，有望な技術であるがなかなか注目されないという話をしていたところ，注目を浴びやすい生物を対象にするのが良いのではないかとというアドバイスを貰うことが出来ました。そこで，特別天然記念物であり，当時すんでいた京都では外来種問題も起きていたオオサンショウウオをターゲットとした取り組みを開始しました。この研究は目論見通り社会的にも注目され，新聞やTVで報道してもらえ，またメディアへの露出もひとつのきっかけとなり，研究者の間でも認知されるようになりました。

□環境DNA研究の展開

一度波に乗ると，環境DNAの研究は一気に加速していきます。マクロ生物の環境DNA分析では，大きく分けて特定の対象種の検出(種特異的検出)，特定種のDNA量の測定による生息数や量の推定(種特異的定量)，同時多種検出(メタバーコーディング)の3つの手法が開発されています。残念ながら種特異的検出はヨーロッパのチームに先を越されましたが，種特異的定量とメタバーコーディングについては，いずれも世界初の論文を私達のチームから発表することが出来ています。また，魚類のメタバーコーディングについては，私も参加する研究プロジェクトが世界最高レベルの検出性能を持つ検出系を開発，発表することが出来ました。このように，日本の研究チームは国際的に見ても最高レベルの研究成果を次々と発表しています。環境DNA分析の適用可能範囲はかなり広く，私が関係しただけでも，分類群で言えば，魚類，両生類，爬

虫類，哺乳類，甲殻類，刺胞動物，扁形動物，高等植物と多岐にわたり，水域のタイプでは，海域，汽水域，河川などの流水域，池や湖などの止水域などを含みます。このことは，環境DNA分析があらゆる水域で，あらゆる生物種に適用可能である可能性を示しており，その発展性，応用生は果てしないものがあります。これからは，これらの技術が環境アセスメントや資源量推定といった場面で実際に使われるようになるよう，研究を進めていきたいと思っています。

□まとめにかえて

私自身も物理・化学から生物へと転向しましたし，環境DNAの発見もきっかけは全くの偶然からでした。一般に，人生の中では方向性を転換するタイミングが何度も訪れます。当初の方向性を守ることだけが成功ではなく，自分の中にある財産を十分に活かしながら，どのような方向であっても人生を楽しむことができる人が強いのではないかと思います。そのためには，高校での学びも(いわゆる勉強だけでなく，遊びや部活も含んだ「学び」のことです)大きな財産になります。高校生の皆さんは，近いところでは大学受験や就職活動といった人生の方向性を変えうるイベントが迫っていますが，方向性の変化に耐えうる学びを高校時代にたっぷり経験しておくことを強くおすすめしたいと思います。

□参加者の感想

環境DNAは水中の生物は水を採取し，地上の生物は土などを採取すれば調べることができるので，生物多様性の喪失が著しい地球にとって，大きな希望であるように感じた。

源先生が環境DNAの手法を編み出したきっかけを聞いて，同じものばかりを見るのではなく，広い視野で研究を進めるうちに新しい発見が生まれると言うことを感じ，今後自分が生物班の研究に関わって行く中で，そのことを忘れないようにしたい。

環境DNAが広く使われるようになったのは

その手軽さだと思います。水をたった一杯汲むだけでそこに特定のDNAがあるかだけでなく、どんな種がどれくらいいるのかもわかるなんですごすぎると思います。環境DNAは地球の未来を考える上で、重要な役割を果たして行くのではないかなと思いました。

今まで水中の生き物を調べるには人によってやり方も違えば結果も違い、調査をすることで環境にダメージを与えてしまう…等、様々な問題があったやり方に代わって、このような革新的な方法があると聞き、驚きました。

■医療・社会系

〔講師〕

宮崎 千恵(岐阜県産婦人科医会会長)

〔日程〕

6月7日(水)

16:00~17:00 講演

17:00~17:30 質疑応答

「あなたの将来は、今、あなたが決める！」

講師の宮崎千恵氏は、本校の同窓生で、産婦人科医として長きにわたり岐阜県の産婦人科医会を牽引されてこられた。

今回は、産婦人科医から見た現状と課題を、市民として医師として必要な観点からお話しいただいた。

医療現場で長年にわたって勤務され、経営者としても医療現場に関わってこられた氏ならではの視点で語られた内容は、将来、医師として働きたい、医療機関で働きたいと考えている者にとって、胸に響くものであった。

■医療・社会系

〔講師〕

杉山保幸(岐阜市民病院・副院長)

増田悠人(岐阜市民病院・研修医)

堀 晃代(岐阜市民病院・薬剤師)

山下紗代(岐阜市民病院・作業療法士)

河口尚未(岐阜市民病院・臨床検査技師)

〔日程〕

7月14日(金)

講演「地域医療に携わる医師としての心構え」

座談会「地域医療について」

岐阜市民病院より講師として、医師のお二人、薬剤師、作業療法士、臨床検査技師のそれぞれお一人にお越しいただき、地域医療に従事する専門職の立場から、また岐阜高校の卒業生の立場からお話をいただきました。受講者は3年生の希望者、49人でした。

□ 医師について

岐阜高校の卒業生は、医師国家試験合格者数で東海地区の上位にランクしています。つまり、多くの先輩たちが医師として活躍しているということです。医師の国家試験では500問出題されますが、中には絶対に間違えてはいけない問題が含まれています。医師の診断は、判断を間違えると患者さんの命に関わることがあり、ミスは許されません。医師は、「ファインプレーよりエラーをしないことが大事」と教わりました。ですから国家試験からこのような形で出題されています。

近年の医療現場ではチーム医療が進んでいます。病院の中では様々な専門職の職員がおり、それぞれの専門性を生かして患者さんを治療するのです。このような仕組みでは、医師が全ての治療をするわけではなく、職員が助け合うことが必要です。医師には組織の一員として、患者さんだけでなく職員にも気を配ることが必要です。また、新しい治療法や新しい知見について常に学ぶことが必要で、生涯を通じて学習が必要です。

□ 研修医について

私は身近に医師が多くいたこともあり、自然と医師を志望するようになりました。私は私立の医学部に進学しましたが、特待生として学んだこともあり、学費の面で少し負担が減りました。特待生を目指して私立医学部への進学も考えてみてはどうでしょうか。

大学では部活動に所属していたため、先輩などとコミュニケーションする力がつきました。4年生までは遊んだり楽しむこともできます。5年生では病院研修が始まり、多くの診療科を回ります。その後6年生で医師国家

試験に臨みます。合格率は高いので、しっかり勉強すれば大丈夫です。

研修医となつてからは、指導医の先生と共に治療にあたりたり、学会に参加することもあります。最近私は、53歳で白血病にかかった患者さんを助けることができました。夜勤や救急など大変なこともあります。このような経験にはとてもやりがいを感じます。

□ 薬剤師について（堀様）要点

薬剤師養成課程を卒業すると約3割が病院薬剤師となります。病院ではチーム医療の一員として、時には医師に対して助言することもあります。薬剤師法にも処方箋の間違いを指摘する義務が定められています。近年ではジェネリック医薬品の増加や新薬の活用など、薬剤師の責任と役割が増えています。よく似た名前の薬もありますが、患者さんの症状について知っていれば正しく処方することもできます。今は、医師の処方どおりに薬を出せばよいという時代ではありません。

薬剤師には、几帳面な人、化学の好きな人、人に教えるのが上手な人が向いていますが、最近では、職員とも患者さんともうまく接することのできるコミュニケーション能力の高い人が最も向いていると思います。

□ リハビリテーション専門職について

リハビリの専門職としては、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3職種があります。市民病院では障害を負った初期の段階（急性期）での治療が多くなります。急性期にはリハビリプログラムの提案をしますが、個人によって家庭や仕事など身の回りの環境は異なります。患者さんと最適なリハビリの方法を相談しながら、社会復帰の手助けをしています。ある程度回復したら転院し、自宅や職場の近くでリハビリを続けられるよう手配することも重要です。

□ 臨床検査技師について

臨床検査技師養成課程を卒業すると、大学院への進学や企業に就職する人もいますが、約6割は病院に勤めます。検査技師の仕事は多岐にわたり、専門性も高いため、認定技師制度がとられています。国家資格を取得したあと、専門の学会の講習を受けるなどして認定技師資格を取得します。認定技師資格は2～3年の更新制なので日常的に勉強が必要になります。

医師は患者さんの症状から診断しますが、検査技師はより詳細な検査の結果から診断を確定します。このように、医師が予測した補助的診断を、検査の結果から確定診断にする課程に大きなやりがいと共に、大きな責任を感じます。

□ 座談会について

座談会では、各職種に分かれ、より専門的な内容のお話を頂きました。生徒から様々な質問が出ましたが、一つ一つの質問に丁寧に答えいただきました。終了後も数人の生徒が質問に並びましたが、どの先生も最後まで丁寧に対応していただきました。

□ 生徒の感想より

医療はチームであるということが印象的でした。医師としての自覚も大切だし、チームの一員として自分がどんな行動をすれば良いか考えて行動することが大事だと感じた。

（医師志望・女子）

医師についてこれまでは調べてきたが、他の職種の話も聞き、その内容を聞くことができた。また、医療現場での実体験を聞く事ができて良かった。

（医師志望・男子）

病院薬剤師は、チーム医療の一員として医師に対しても意見できるだけの、知識や経験、信頼が必要であると分かりました。

（薬剤師志望・男子）

今まで知らなかった病院内での薬剤師の仕事について知ることができて良かった。

（薬剤師志望・女子）

資格取得のために人体の解剖実習があるなど、今まで知らなかった事も知ることができて良かった。

（作業療法士志望・女子）

臨床検査技師にも様々な専門があり、それぞれの専門的な事まで理解できて良かった。

（臨床検査技師志望・女子）

■ 社会系

〔講師〕

高野誠鮮(羽咋市教育委員会文化財室長)

〔日程〕

7月18日(火)13:45~15:45

「可能性の無視は最大の悪策」

今日は、私の仕事での経験を通して、チャレンジやプラス思考の大切さについてお話したいと思います。

私は、2年前までは公務員として石川県羽咋市役所で働き、現在は3つの大学で教えています。市役所で航空関係の仕事をしていた時、羽咋市の宇宙博物館で使用するための物品をNASAから100年間無償で借りることができました。その時も、皆に無理だと言われることや業者にできないことを自分でやる楽しさがありました。今日、これから話すのは、石川県羽咋市神子原地区の立て直しの仕事についてです。この地区は18年間子供が生まれていないので、保育所や小学校がなくなった限界集落です。市役所には優秀な人材いるにもかかわらず、これまで過疎化を防げなかったわけですから、前例にとらわれずいろいろなことを試してみました。まずは、決裁文章をやめ、会議をやめました。計画書を何ページ作ったら過疎化はなくなりますか？会議を何回やったら過疎化はなくなるでしょうか？行動が伴わなければ、1,000回議論しても全く変化は起こせません。書いた計画書の通りになったら、世界の企業から赤字はなくなるはず。基本的な仕事における考え方を整理すると、「理念」「戦略」「実践」の3つを徹底的に考えることであり、この3つさえ押さえれば、実現できないような計画書や会議は必要ありません。

公務員には「いてもいなくてもいい公務員」「いては困る公務員」「いなくてはならない公務員」の3種類が存在します。失敗した時のことを真っ先に言い出す人や、経験則もないのに知っているだけの人、栄達やお金だけが目的の人、議論だけの人、私心がある人などは「いては困る公務員」ではないかと思えます。そのような姿勢では不十分だと私が考えるのはなぜでしょう？だれも反対しない意

見でまとめようとするし、経験的知識が乏しく、誤判断がよく起こります。また、合議制によって責任所在がないことも問題です。石橋を叩いて壊す精神がはびこっています。ひとことで言うと、役所には企業センスがないわけです。例えば、赤字になってる道の駅の駅長の96.5%は公務員出身です。

本来、役所は役に立つ所で、役人とは役に立つ人と書きます。明治維新の頃は、日本という国を立て直そう、再建しようとなが上を向いていたはず。なぜ、公務員がこのような組織風土になってしまうのかというと、現在では、公務員は一度潜り込んで、組織に逆らわなければ給料が上がるので、自己の保身を考えがちになるからだとは私と考えています。

では、どのようにしたら、よい仕事ができるのでしょうか？それは「できる理由しか探さない」「一つでも思いついたらやってみる」ことです。植物の根っこのように、これがだめならこれと次々とアイデアを出していくのです。失敗はつきものですが、やがて一つがゆっくりと伸びていくはず。人間はマイナス思考に陥ると「失敗したらどうしよう」と考えますが、プラス思考で「うまくいったら楽しいな」と考えた方が人生楽しいでしょう？成功した時のイメージを強く持つことが大切です。

私が取り組んだ限界集落の立て直しは、疲弊する原因と対策の追求から始まりました。当時の農村の平均収入は87万円で、一般的なサラリーマンの収入435万円とは大きな差がありました。農業をはじめとする第一次産業の一番の欠点は自分で作ったものに希望小売価格がつけられないことです。では、村全体が自分で自分の作物に希望小売価格をつけられるようにすればいいと考えました。農家の方々に「自分で販路づくり、価格をつけてください。」と伝え、「売れ残りは農協の代わりに役所が買い取ってくれるんだろうな。」という考え方はやめてもらい、自立を促しました。一般の小売業でそのような考え方は通用しませんから。失敗も多くしましたが、若い人が入ってきて子供を産んでくれ、Uターン、他県からの移住者を通して4年間で限界集落脱却、所得の向上、農家カフェの立ち上げを達成しました。そんな時に重要なのが、成功例よりも(短命に終わった)失敗例を参考にすることです。例えば、従来のUターン

は頭下げて来てもらっていたり、「補助金あげます」とUターン希望者をお客さん扱いしたりしました。私たちは、一緒になって草刈りしてくれる人でないと受け入れないと伝え、書類審査にパスした人のみに来てもらうことにしました。

また、マイナス思考をプラス思考に変えることも意識しました。例えば、携帯が通じない神子原地区はマイナスでしょうか？考えようによってはプラスにならないかと考えてみるのです。実際、過疎の村には何も無いという人がいますが、少なくとも教育力があります。子育てで困ってれば近所のおばあさんが助けてくれますし、子供がよいことや悪いことをすれば地域全体で見えてくれます。

そもそも、私が本気でこの仕事に取り組もうと思ったのは、当時の私の上司である池田課長が「犯罪以外の責任は全部俺がとってやる」と孤立無援の私に一言、声をかけてくれたからです。この言葉が、私を本気にさせました。根性がすわっている方で、私が新聞社に叩かれた時も「それだけ注目されている証拠だ」とむしろ励ましてくれました。普通の上司なら、「記事にこんなことを書かれてどうするんだ、責任とれるのか」というはずです。人は、「お金」ではなく「人」によって動くのだと痛感しました。

私の哲学は、簡単に申し上げると「がりがりになった自分の手があった時どうするか」に例えることができます。お金がないからやせたのではない、動かしていないからやせたのです。限界集落は取り除けばいいのではなく、切り取れば解決するわけではありません。人やモノを活発に動かす必要があるのです。また、なぜ右手と左手は喧嘩しないのでしょうか？右手は、左手がなくなったからと言って、「ライバルがいなくなってよかった」とはいわないはずです。こんな考え方を会社がしたら倒産します、家族は崩壊します。助け合って、活性化させることが非常に重要です。今の社会の考え方には、がん細胞のように「悪いものは取り除けばいい」という雰囲気があるのかもしれない。

成功のためにはいくつかの戦略が必要です。まずは、「メディア戦略」です。できるだけ多くの人を動かしたいと思ったら、目と耳の情報を刺激することが重要です。人間は知ってるから行きたい、買いたいと考えます。

日本人は「近いほど過小評価する」「『外国人が』というだけで価値が上がる」という気質が強いので、情報は近くに落とさない、とにかく遠くに投げることを心がけました。次に「ブランド化戦略」です。「コシヒカリのオーナーになりませんか？」とイギリス大使館の方を巻き込みながら、神子原米を天皇、ローマ法王、アメリカ大統領などの世界の要人に売り込みました。「石川県とイタリアの形がいかかに似ているか」を伝え、「日本の小さな村と世界一小さな国との架け橋にしたい」とローマ法王に伝えたところ、日本で初めて、米を献上することに成功しました。最後に「交流戦略」です。烏帽子親農家制度を設け、若者を地域の高齢者と交流させるなかで、定住者を徐々に増やしていきました。他にも、著名な書家に「あなたの作品がこの村を救う」と依頼し、米袋のパッケージに揮毫していただくなど、出せるアイデアをフル活用しました。最終的には、販売価格1俵42,000円、作った日本酒はJALで使用といった具合に見事にブランド化に成功しました。とにかくトライしてやってみることが大切だと、経験するたびに分かってきました。最初からうまくはいきませんでした。何度も失敗するとバランス感覚が分かってきます。限られた時間のなかでとりあえずやってみるしかなかったのです。そうやって、少しずつ成功に近づいていったのです。

この経験を通して大切だとわかったことは三つあります。まず、人の心をどう動かすかに時間を割くということです。それ以外のことはたいていどうにかかります。例えば、お金なくてもできることは山ほどあります。「お金がないからできません。」などと自分の外部に要因を探してはいけません。行く会社がなければ自分で会社作ってやればいい。行く大学がなければ自分で作った方がいいわけです。私心なく人に接すれば、時間はかかりますが、物事を成功させるために不可欠である「人の心を動かす」ことはできます。

次に、素人だからこそその強みがあるということです。私も、農業について下手に知っていたらこんなことに手を出してはいませんでした。ど素人で全く知らないからこそ、自由な発想ができました。もともとは、市役所で宇宙関連の仕事をやっていたところを、「貴様のようなやつは、農林水産課に飛ばしてやる」と言われて、何も知らない部署に行った

のがきっかけです。そんな中でいろいろと苦
労する中で、農業の大切さもわかりました。
殺虫剤で虫を殺し、化学肥料を与えて育った
野菜や果物の危険性についても知ることがで
きました。

最後に、嫌われる勇気を持つことです。私
は農村のことを第一に考え、嫌われること覚
悟でやっていました。私心がないことが分か
ってもらえればいいと思っていただけです。
いろいろと軋轢も生みましたが、先日村の方
に「あなたの銅像を建ててやろうと思っ
ただけ。」と言われ、人とのつながりの大
切さも改めて感じました。

とにかく、成功するまでやってみることで
す。Think globally, act locally. という言葉が
ありますが、手のひらに地球をのせるイメ
ージで、大きな視野を持って物事を見てくだ
さい。そうすると革新的なアイデアが浮かんで
くると思います。東大も世界では32位、目
指すのならハーバード大学などさらに大きな
ものをぜひ目指してください。「どこ行きた
いの?」「ハーバード。」なんて会話かっこい
いじゃないですか。逆に、例えばキリストは
小学校さえ出ていない。にもかかわらず、20
00年の思想を残しました。地球を俯瞰して
みたら、自分がつまらないことで悩んでいる
ことがわかるはず。徹底的にやってください。
滅私して取り組む姿はかっこいいし、人
を動かす力を持っています。成功への階段だ
と思って、若いうちにどんどん失敗してくだ
さい。

しました。多くの国でのご勤務経験から、ご
自身が目にし、感じてこられた世界の現状に
ついて伺いました。海外で働くことのメリッ
トやデメリット、国際公務員として働くこと
と民間企業で働くことの違い、またどのよう
な信念を持って仕事にあたられているかな
ど、生徒の質問に答える形でお話をいただき
ました。「国際機関で働くという道は、決し
て遠いものではないと感じて欲しい」と話さ
れ、参加者にエールを贈っていただきました。

□生徒の感想から

テレビで見るとような難民の実情や、テレビ
でやらないような、地味だけれども重大な問
題を知って、顔を殴られたような衝撃を感じ
ました。国連・海外・政治の三点において、
今後の自分の考えを大きく変えるものでし
た。

世界にはさまざまな問題があり、日本の政
治や世界各国の政治について考えるよい機会
となりました。アメリカ合衆国は TPP を脱
退したり、パリ協定から外れたりしてしま
すが、そのような行動をとった原因を考
えることも大切ですが、そのことで何が起きるかを
考えることも大切だとわかりました。

国際交流体験プログラム

〔講 師〕

石井久哉(国際連合監査部 監査役)

〔日 程〕7月14日(金)

13:45~14:45 講演

14:50~15:50 座談会

「国際機関で働くということ」

7月14日、本校OBで、現在国際連合監査
部の監査役としてナイロビに勤務されている
石井久哉氏を講師にお招きし、講演会を実施

